

## 光視環境配慮住宅認証制度の概要

項目	内容	備考
対象物件	戸建住宅又は集合住宅	新築
認証制度利用価格	20,000円/件	評価対象室は全居室
認証対象物件	品確法 7.窓の面積(光視環境)	全居室調光・調色機能 廊下・階段足元照明
測定対象	昼光率/照度・色温度	
測定方法	KJK光視環境測定	
評価基準	KJK光視環境評価基準	
測定者	健康住宅スペシャリスト・光視環境診断士 (NPO法人日本健康住宅協会認定資格者)	光視環境仕様確認書 光視環境評価書
説明者	上記資格者及び健康住宅アドバイザー (NPO法人日本健康住宅協会認定資格者)	配慮事項説明書
光視環境認証制度の流れ	①NPO法人日本健康住宅協会HPよりWeb申込 ②特認委員からNPO法人日本健康住宅協会に診断所見書を提出 ③光視環境診断士が仕様確認書・配慮事項説明書を作成 ④NPO法人日本健康住宅協会が光視環境配慮住宅認定証を発行 ⑤認証書類一式を住まい手に説明と提出 ※建物完成前2週間なら申込受付可能	

## 性能表示項目の説明

開口部の面積と位置については、次の2項目があります。

## 7-1 単純開口率

居室の外壁又は屋根に設けられた開口部の面積の床面積に対する割合を「%以上」で表示します。  
 開口部の面積とは、天井面も含めた開口部の面積の合計です。はめこらし窓のように開放できないものであっても、  
 光を透過する材料で作られていれば対象とします。

## 7-2 方位別開口比

居室の外壁又は屋根に設けられた開口部の面積の各方位別ごとの比率を「%以上」で表示します。  
 各方位とは、北、東、南、西、真上です。  
 ただし、住宅の開口部は、必ずしも、真北・真東・真南・真西又は真上を向いているわけではありませんが、  
 ここでは、45度までの範囲で斜め方向を向いた開口部についてもそれぞれ北・東・南・西の方向であるとみなします。  
 また、その方向に別の建物など、日光を遮るものがあるか否かを問うているものではありません。